

第14期(2019年3月期)決算説明会

2019年6月4日



アジアパイルホールディングス株式会社

目次

I 決算のポイント、主なトピックス	1
II マーケットの動向	14
III 決算概要(連結)	19
IV 5か年計画	24
V 経営概況	26

I 決算のポイント、主なトピックス

I-1 決算のポイント

➤ 2019年3月期 連結業績の概況

(%表示は対前期増減率)

売上高	営業利益	経常利益
855億円 (+9.7%)	52億円 (+61.7%)	48億円 (+61.7%)

売上・利益共
過去最高

5か年計画概ね達成

➤ 国内、海外の状況

国内	大型工事増加	+	工事採算改善
海外	ベトナムPV社 業績伸展・FCM社買収		ミャンマーVJP社 7月出荷開始・本格稼動

国内
大幅増収増益

海外
業容拡大中

➤ 部門別売上高

コンクリートパイル
前期比 +10.6% の増収

場所打杭
同 +14.5% の増収
引き続き好調推移

鋼管杭
大型土木工事の減少により減収

コンクリート
パイル・場所
打杭が好調

I-2 主なトピックス

国内展開

大型工事案件受注拡大

新工法<MAGNUM工法>開発・積極展開

施工現場での工事管理ICT運用展開

営業所開設・周辺技術等

海外展開

ベトナム
PV社

既存事業伸展・FCM買収による北部地盤強化

ミャンマー
VJP社

7月出荷開始・本格稼働

資金調達

公募増資により国内外へ積極投資

I-3 主なトピックス

国内展開

大型工事案件受注拡大

- 大型工事案件受注
首都圏・九州地区等大型再開発案件完工

新工法<MAGNUM工法>開発・積極展開

- 「MAGNUM工法」の開発
 - 2018年上期 国土交通大臣認定取得
 - 2018年下期 営業展開・受注開始
- 高強度杭123N杭の全国生産体制整備
- MAGNUM工法対応の節杭(HSタイプ)の生産体制整備

I-4 主なトピックス

国内展開

施工現場での工事管理ICT運用展開

- 工事管理ICT導入・施工現場でのICT管理運用展開

営業所開設・周辺技術等

- 2019年3月 沖縄営業所新設
- 地熱トルネード工法
(一社)建築設備総合協会
環境・設備デザイン賞
優秀賞受賞



I-5 主なトピックス

海外展開

ベトナム
PV社

既存事業伸展・FCM買収による北部地盤強化

- 事業基盤確立し、業容拡大中
- 2018年9月 Fecon Mining Joint Stock Company (FCM)社買収、ベトナム北部の更なる営業基盤拡大
FCM社の第4四半期業績が連結決算に寄与

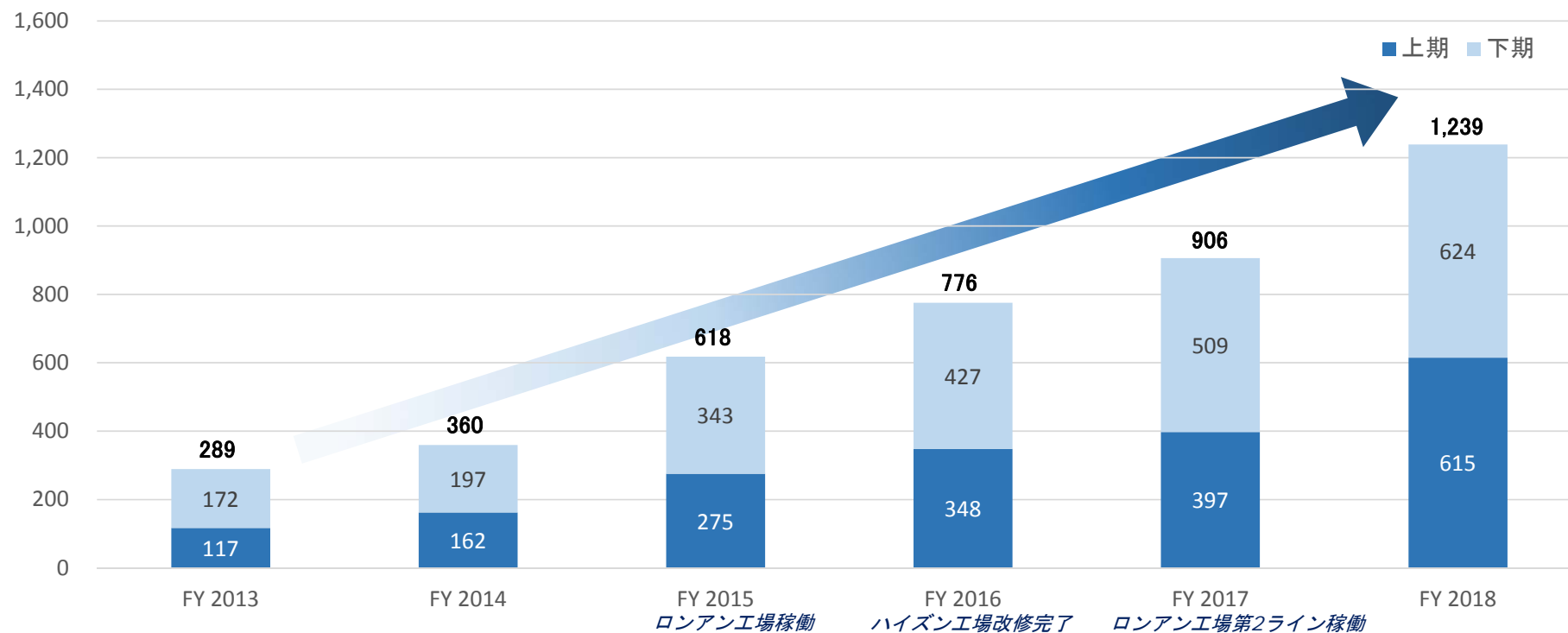
ミャンマー
VJP社

7月出荷開始・本格稼働

- VJP社ティラワ工場
2018年7月 出荷を開始・本格稼働、受注好調

ベトナムPV社の生産量推移

(単位：千トン)

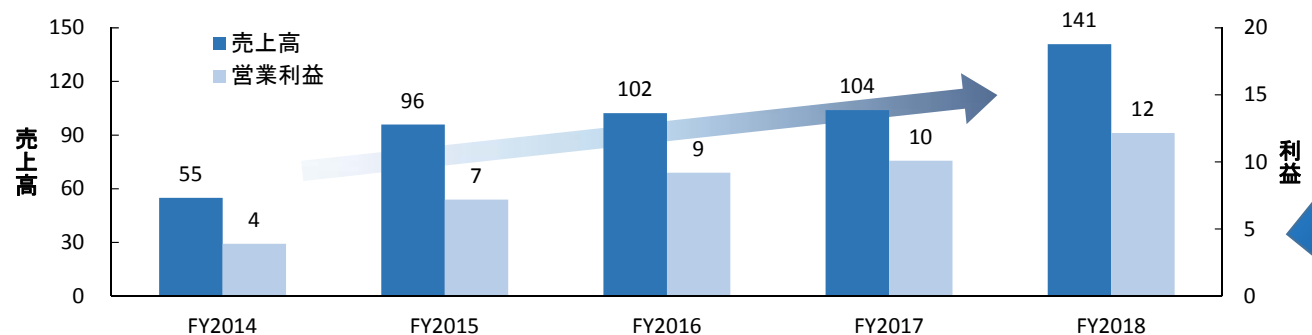


➤ PV社生産量は飛躍的に増加し、ジャパンパイルの生産量を上回る

ベトナムPV社の業績推移

PV社

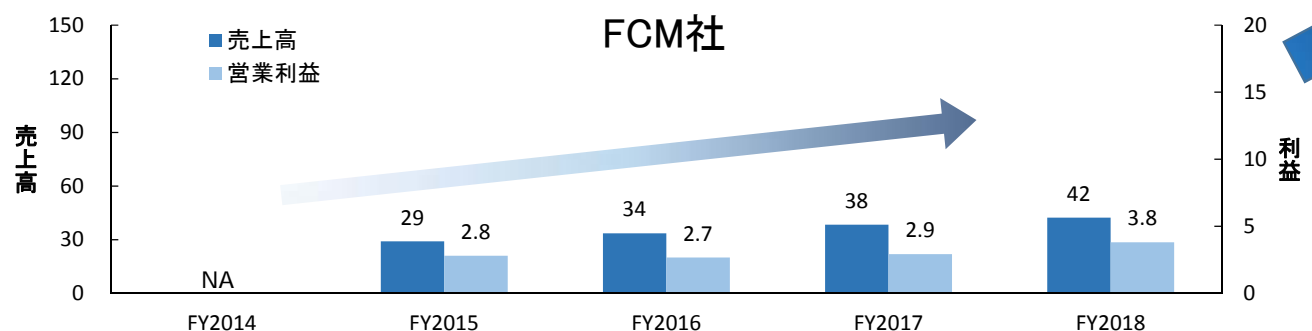
(単位:億円)



(注) 連結調整前の数値 (PV社決算月は12月であり、連結決算は3カ月の期ずれで取り込み)

FCM社

(単位:億円)



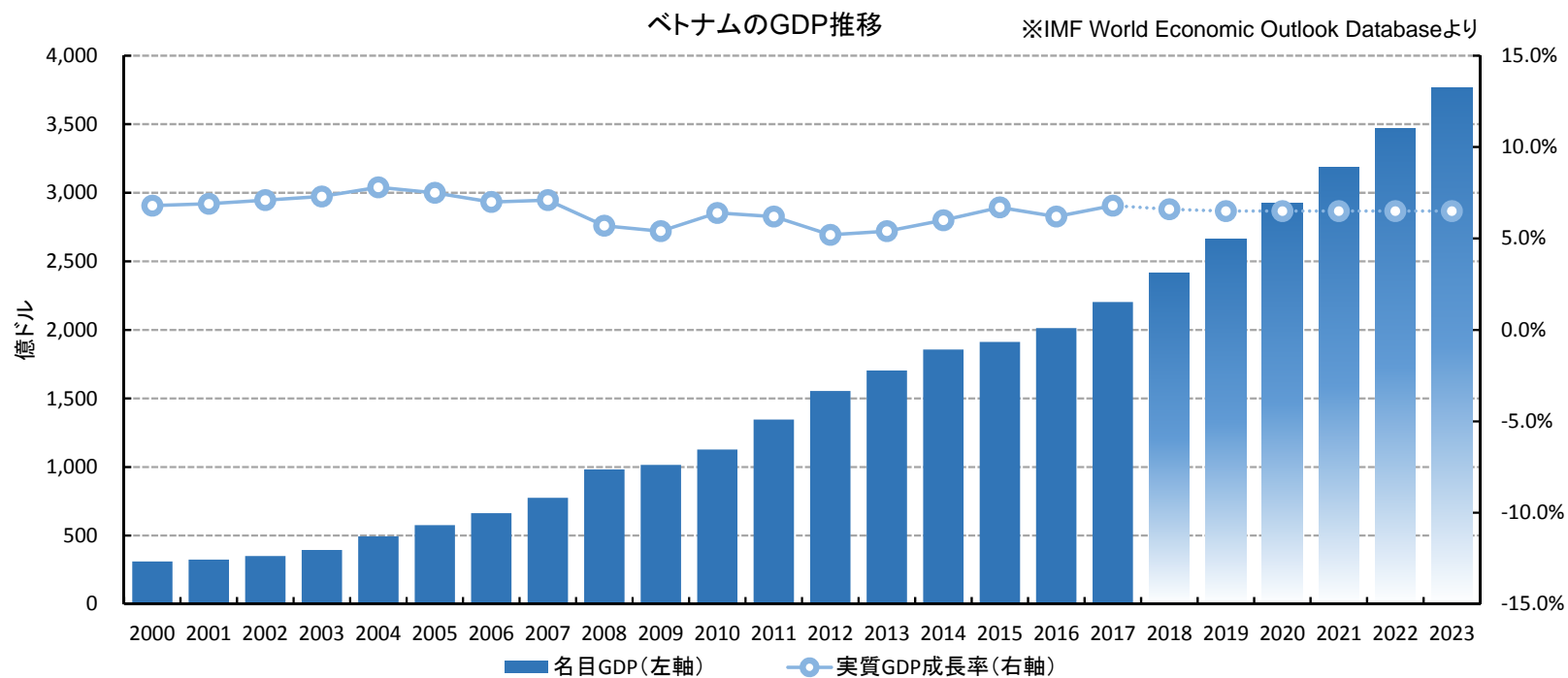
➤ FCM社FY2018期の内、第4四半期が連結業績に寄与

2018年9月26日
FCM社買収
(連結子会社化)



成長マーケットである
ベトナム北部における
一層の基盤拡大

(ご参考) ベトナムのGDP推移





ベトナム

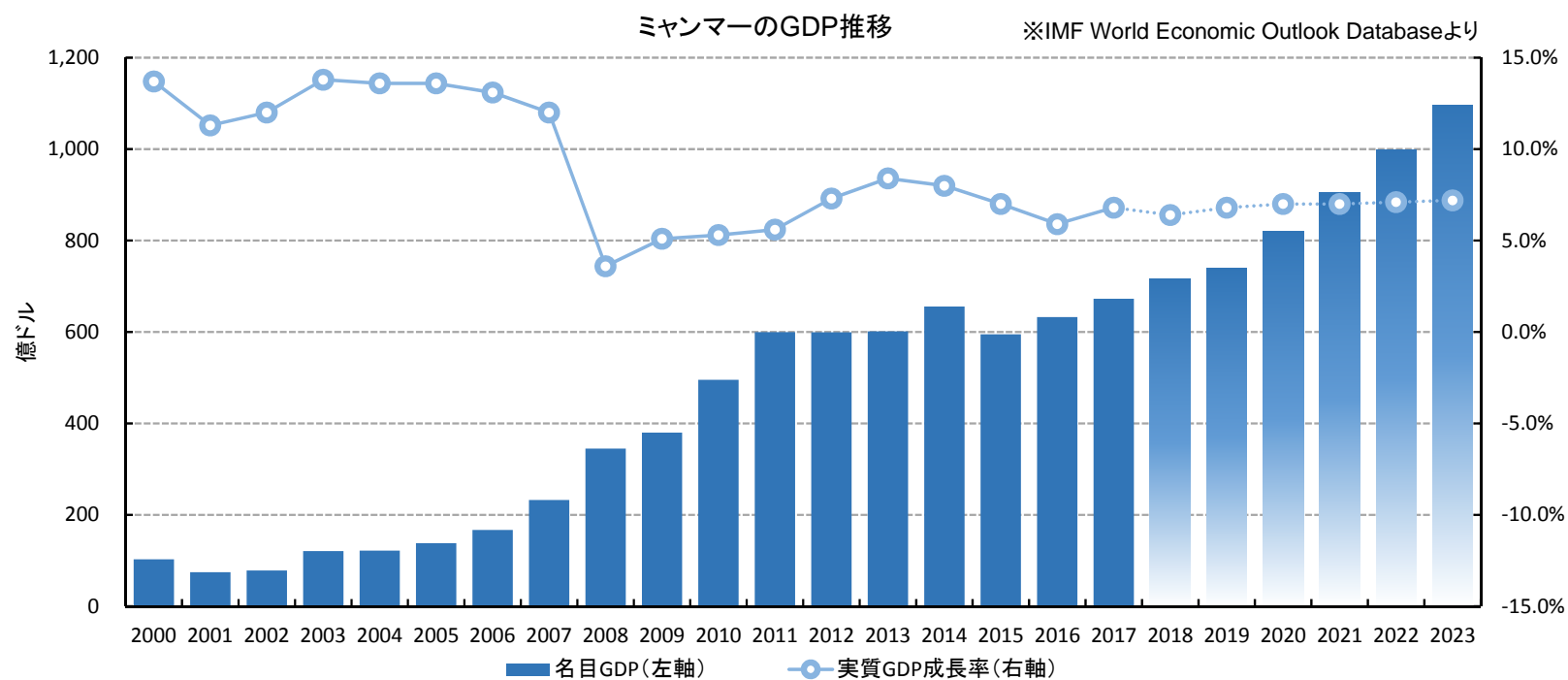


アジアパイルホールディングス株式会社

FCM社 ハナム工場



(ご参考)ミャンマーのGDP推移



VJP社 ティラワ工場



I-6 主なトピックス

資金調達

公募増資により国内外へ積極投資

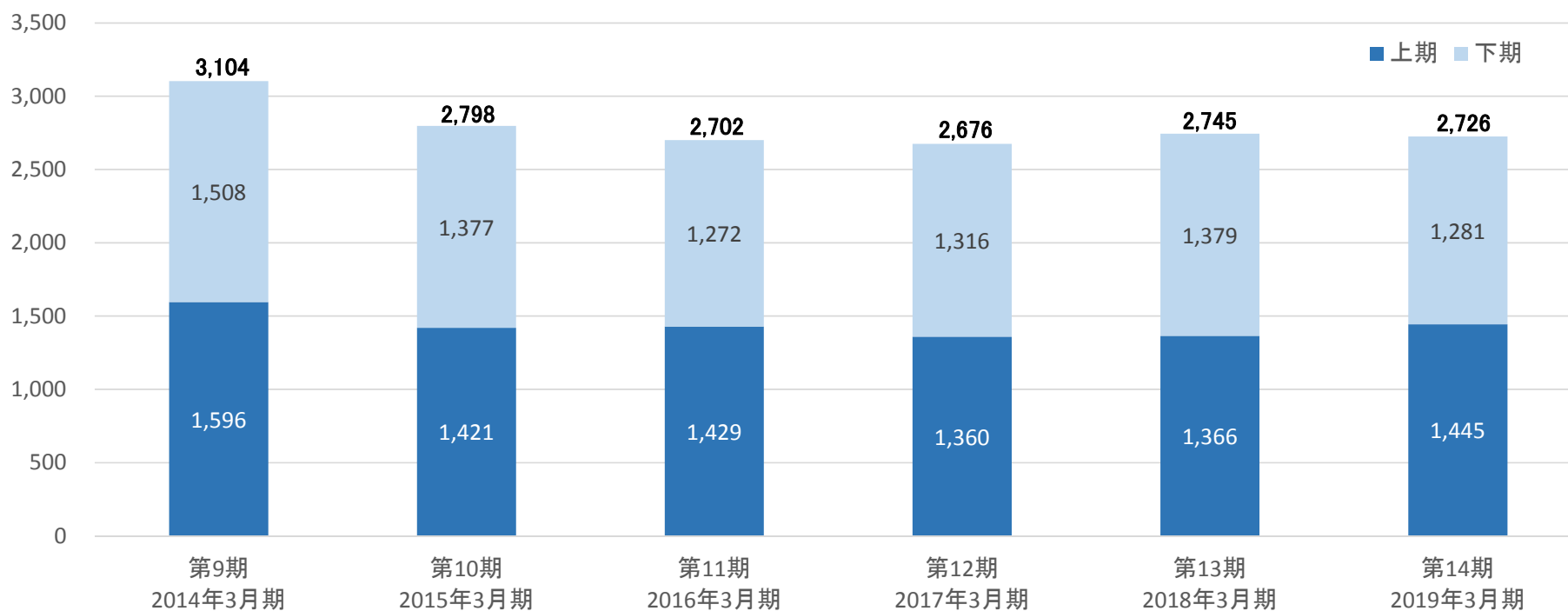
- 公募増資(発行決議日:9月28日)により、23億円を調達
- 主な資金使途
 - 海外投資 15億円(FCM社買収他海外事業資金)
 - 国内投資 8億円(MAGNUM工法対応製造設備・施工機械等)

Ⅱ マーケットの動向

Ⅱ-1 全国コンクリートパイロ出荷量

(単位：千トン)

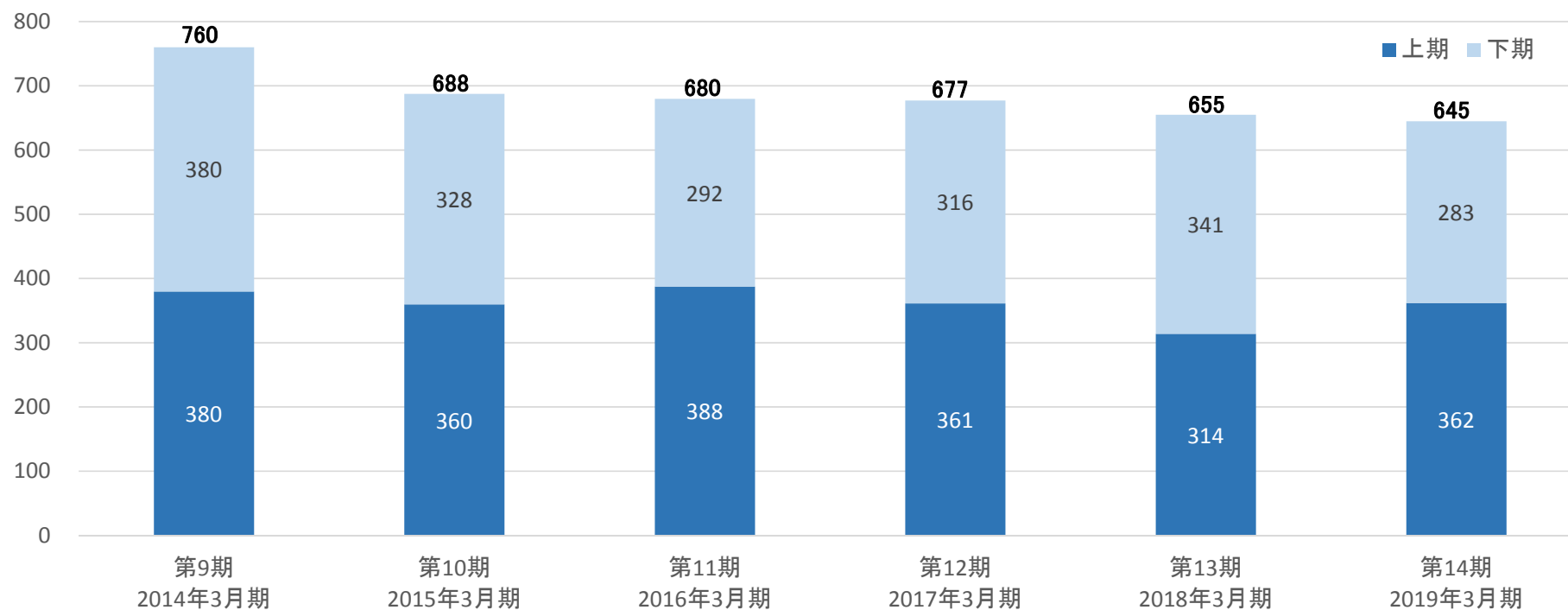
(出典)一般社団法人 日本コンクリートポール・パイル協会資料



➤ 2018年度は前期比 0.7%減少

Ⅱ-2 当社グループのコンクリートパイプ完成量(国内)

(単位：千トン)



➤ 2018年度は前期比 1.6%減少

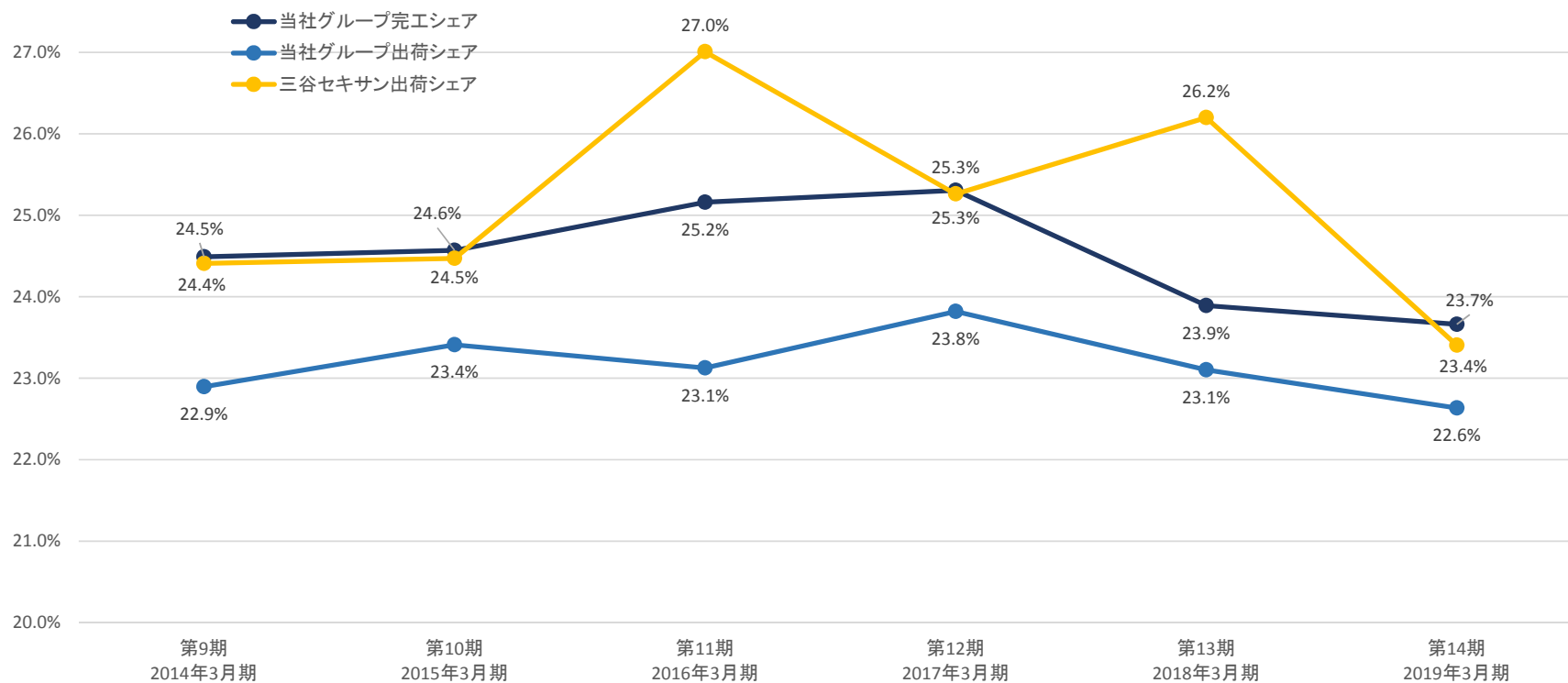
Ⅱ-3 コンクリートパイルのシェア(国内)

(出典)一般社団法人 日本コンクリートポール・パイル協会資料および当社社内資料

		第9期 2014年3月期	第10期 2015年3月期	第11期 2016年3月期	第12期 2017年3月期	第13期 2018年3月期	第14期 2019年3月期
当社グループ	完工量(千t)	760	688	680	677	656	645
	シェア	24.5%	24.6%	25.2%	25.3%	23.9%	23.7%
	出荷量(千t)	711	655	625	637	634	617
	シェア	22.9%	23.4%	23.1%	23.8%	23.1%	22.6%
三谷セキサン	出荷量(千t)	758	685	730	676	719	638
	シェア	24.4%	24.5%	27.0%	25.3%	26.2%	23.4%
日本コンクリート工業	出荷量(千t)	242	240	217	213	257	334
	シェア	7.8%	8.6%	8.0%	8.0%	9.3%	12.3%
日本ヒューム	出荷量(千t)	270	251	251	249	289	252
	シェア	8.7%	9.0%	9.3%	9.3%	10.5%	9.2%
トーヨーアサノ	出荷量(千t)	196	197	159	170	179	174
	シェア	6.3%	7.1%	5.9%	6.3%	6.5%	6.4%
業界全体	出荷量(千t)	3,104	2,798	2,702	2,676	2,745	2,726
	シェア	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Ⅱ-4 コンクリートパイルのシェア推移(国内)

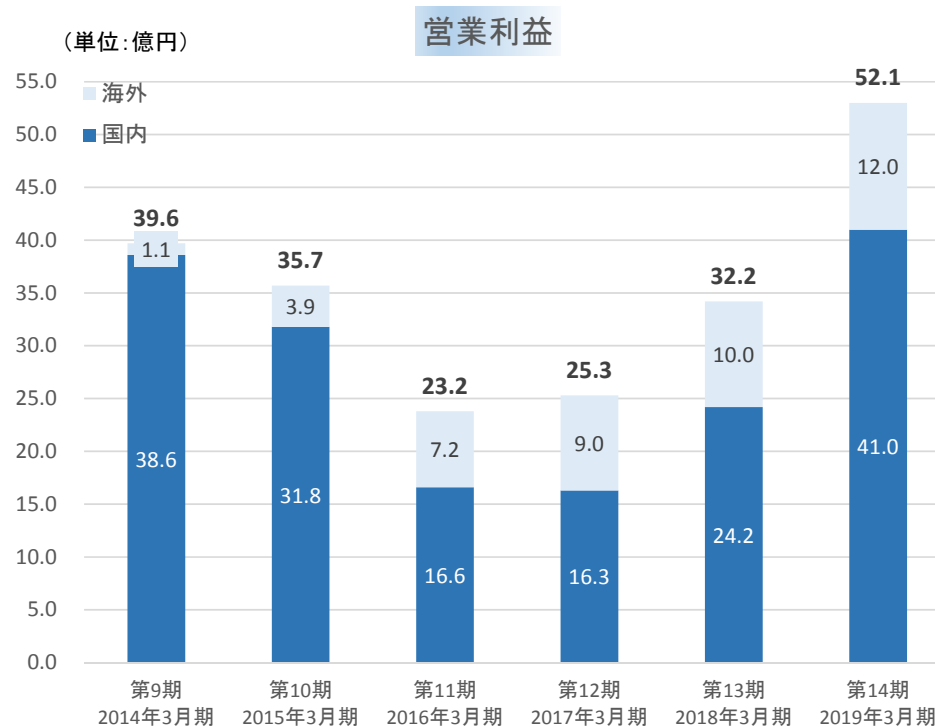
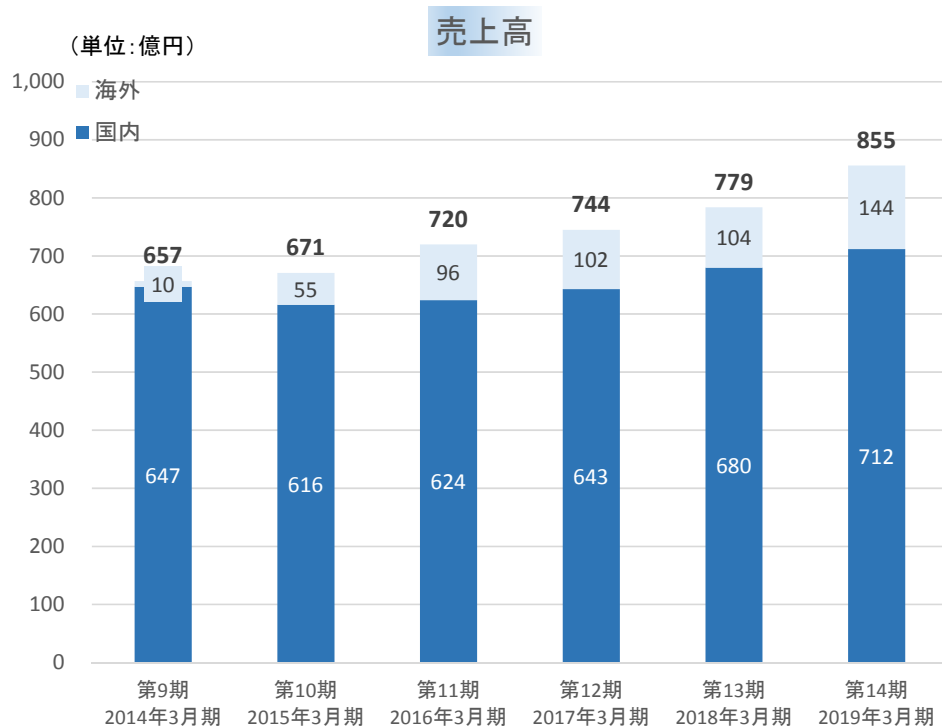
(出典)一般社団法人 日本コンクリートポール・パイル協会資料および当社社内資料



Ⅲ 決算概要(連結)

Ⅲ-1 売上高・営業利益の推移

売上・利益共に設立以来過去最高

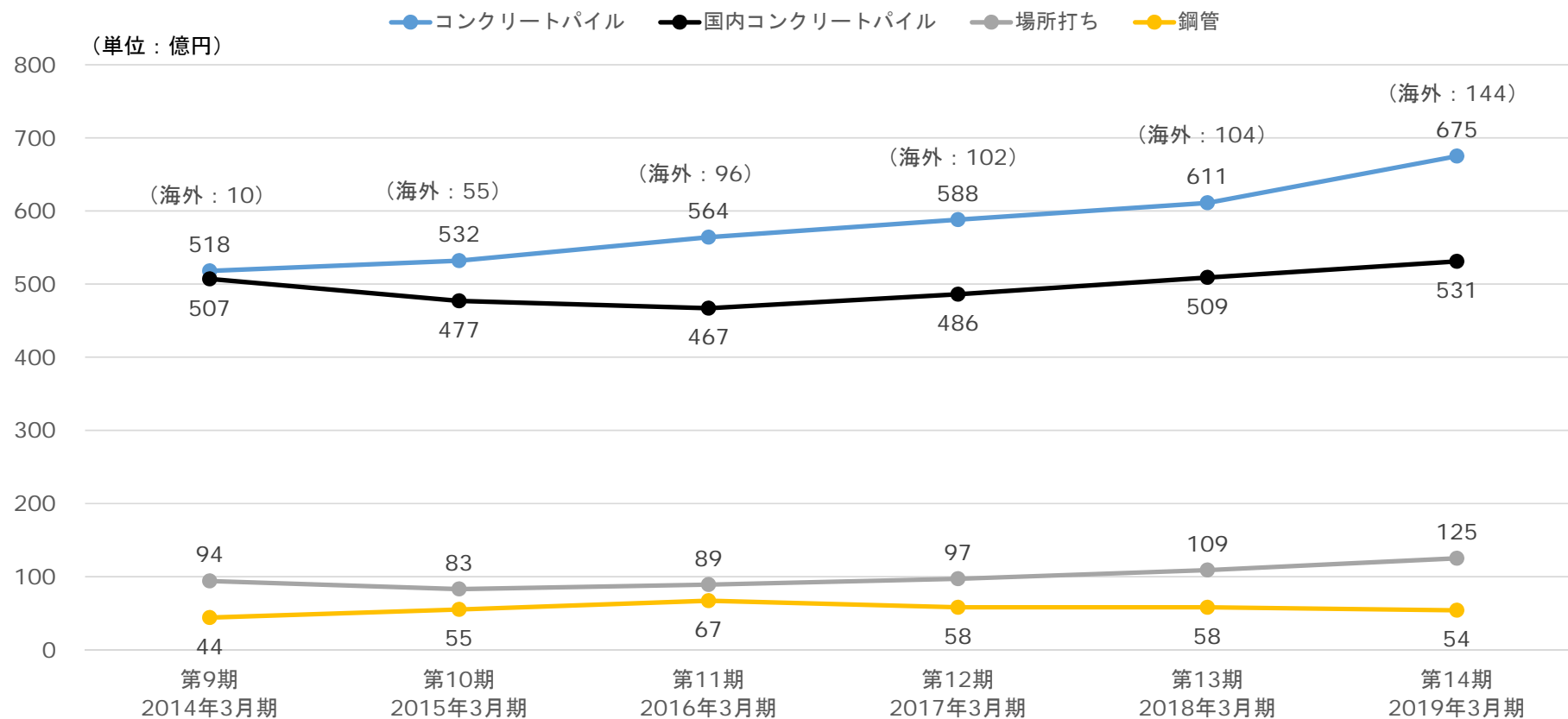


➤ 売上高は前期比 9.7%の増収

➤ 営業利益は前期比 61.7%の増益

(注)売上高、営業利益の国内・海外内訳は連結調整前

Ⅲ-2 部門別売上高の推移



Ⅲ-3 損益計算書

	第9期 2014年3月期	第10期 2015年3月期	第11期 2016年3月期	第12期 2017年3月期	第13期 2018年3月期	第14期 2019年3月期	第15期 2020年3月期 (予想)
(単位:百万円)							
売上高	65,779	67,169	72,078	74,422	77,994	85,566	90,000
売上総利益	10,768	10,613	10,097	10,463	11,336	13,593	—
営業利益	3,964	3,573	2,324	2,534	3,223	5,212	5,500
経常利益	4,239	3,666	2,235	2,382	2,997	4,847	5,100
親会社株主に帰属する当期純利益	2,661	2,396	1,432	1,629	1,911	3,164	3,250
売上高総利益率	16.4%	15.8%	14.0%	14.1%	14.5%	15.9%	—
自己資本当期純利益率	14.3%	10.2%	5.8%	6.3%	7.0%	10.5%	—

Ⅲ-4 キャッシュ・フロー計算書

	第9期 2014年3月期	第10期 2015年3月期	第11期 2016年3月期	第12期 2017年3月期	第13期 2018年3月期	第14期 2019年3月期
(単位:百万円)						
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,511	4,249	870	2,296	1,750	3,195
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,445	△ 3,140	△ 3,902	△ 2,502	△ 3,001	△ 3,164
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,025	△ 2,016	2,670	△ 1,177	2,014	1,937
IV. 現金及び現金同等物の期末残高	11,564	10,741	10,301	8,759	9,424	11,330

IV 5か年計画

IV 新5か年計画の概要

日本国内とアセアン地域において最高の技術力と最大の基礎建設能力を有するグループを目指す。

1. 業績目標

(億円)

	前5か年計画			新5か年計画
	2018年度計画 *	2018年度 実績	2013年度 対比	2023年度計画
売上高	850	855	+30.1%	1,100
営業利益	54	52	+31.5%	65

* 国内のM&Aによる売上高150億円を除く計画

2. 計画骨子

国内	海外
売上高：800億円	売上高：300億円
コンクリートパイル・場所打ち杭・鋼管杭 ↓ 全部門でのトップを目指す	国内・外子会社間 ↓ 連携強化を目指す
<ul style="list-style-type: none"> ➤ コンクリートパイル：大規模工事分野への積極的進出 ➤ 場所打ち杭：超高層ビルの基礎分野の拡充、M&Aの推進 ➤ 鋼管杭：土木分野の充実、M&Aの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ベトナム：基礎建設部門充実 ➤ ミャンマー：積極的な増産体制の構築 ➤ その他アセアン諸国での事業化推進

V 経営概況

V-1 経営概況

1. 9期連続増収の背景

(1) コンクリートパイル業界の変化

(2) シェアー変動

(3) 当社の戦略

- ① 建設業への転進
- ② 技術開発力の強化
- ③ 生産部門の考え方

(4) 成長戦略としての海外事業

V-2 経営概況

2. 新5か年計画

- (1) アジアパイルとしての目標の設定
- (2) 国内事業の総仕上げ
- (3) 海外事業と国内事業との連携の強化
- (4) 数値目標

3. 当社の将来



アジアパイルホールディングス株式会社

Building the foundations of Asia

アジアの基礎をきずく。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があることにご留意下さい。

また、本資料の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性については一切保証いたしません。